

地震発生時、  
電気を原因とする火災を防ぐには

# 揺れを感知して

# 電気を遮断する

# 感震ブレーカー

が有効です。

感震ブレーカーは、地震発生時に設置値以上の揺れを感知したときに、電気を自動で止める器具です。

電気を原因とする火災は、地震によって発生する火災の過半数を占めています。

地震発生時にこうした火災を防ぐためには、電化製品のプラグを抜き、ブレーカーを落としてから避難することが望ましいですが、そのような予防行動を取る余裕がない場合は、感震ブレーカーが役立ちます。

感震ブレーカーの特徴や種類、留意点を理解して設置を検討しましょう。

感震ブレーカーや  
電気火災について  
詳細はこちら



大田区防災危機管理課  
TEL. 03-5744-1235

## 電気を原因とする火災のイメージ

地震で家具が転倒、  
電気コードが損傷

▶ 停電後に復電、  
電気コードがショート

▶ 火花が発生、  
周囲の可燃物に着火

# 感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ・コンセントタイプ・簡易タイプの3つに大きく分けられます。各製品の特徴を踏まえて、ライフスタイルにあったものを選びましょう。

タイプ	分電盤タイプ	コンセントタイプ	簡易タイプ
イメージ			
特徴	分電盤に内蔵されたセンサーが地震の揺れを感知し電気を遮断。既設の分電盤に後付け設置するタイプもある。	コンセントに内蔵されたセンサーが地震の揺れを感知しコンセントの電気を遮断。	地震の揺れに伴うおもりの落下やばねの作動により、ブレーカーを落として電気を遮断。
参考価格	約5万円～8万円（内蔵） 約2万円（後付け）	約5千円～2万円	約2千円～4千円
設置工事	必要	不要 （埋込型の場合は必要）	不要
遮断までの時間	あり	製品により異なる	製品により異なる
遮断範囲	屋内全ての電気供給	設置した箇所のみ	屋内全ての電気供給

## 感震ブレーカー作動時の留意点

電気を遮断する感震ブレーカーの設置に際しては、**停電対策**と合わせて取り組むことが必要です。生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、**停電に対処できるバッテリー等**を備えてください。夜間の照明確保のために、**停電時に作動する足元灯や懐中電灯等の照明器具**を常備しましょう。ブレーカーを戻す際は、破損している家電や配線等、出火の原因となるものが周囲にないか確認してから戻してください。

急に電気が止まっても  
困らないように、  
日頃の備えが大切です。

## 無料支給・あっせん

大田区では、感震ブレーカーや家具転倒防止器具等のあっせんや無料支給を行っています。大切な家族や財産を守るため、防災用品を備えましょう。詳細は区ホームページをご確認ください。

問合せ先：大田区防災危機管理課 03-5744-1235

詳細はこちらから！



感震ブレーカーの  
無料支給



家具転倒防止器具の  
無料支給



防災用品のあっせん